

中小企業・小規模企業の販路開拓(国際食品展示会出展)支援 (公益財団法人神奈川産業振興センター)

2024年4月~2025年3月実施予定

【課題】国内人口は長期的に減少傾向にあり、今後、食品業界の縮小が予想される。一方世界中で日本食のプレゼンスが高まるなか、日本食を始めとする海外での食品ビジネスには大きなチャンスが広がっているものの自社商品が通用することに気づかない中小企業も存在する。さらに経営資源に乏しい中小企業にとっては展示会への出展に関しても制約があるといった課題がある。

【目的】首都圏等で開催される国際食品展示会へ出展することで自社製品へのニーズを確認し、海外バイヤーとの出会いによりその課題を克服するため、中小企業・小規模企業に対して販路開拓の機会を提供する。さらに当センター国際課と連携し、出展後の各種支援を充実させ海外展開の一助とする。

【都道府県の施策との連携・親和性】県からの補助を受けて実施する事業であり、所管課とは中小企業支援事業において一貫した連携体制を保っている。施策とも一致している。

【本事業の内容】

【A事業②】

・中小企業・小規模企業が地域資源や独自技術を活用し、新商品づくり・販売等を行う際に首都圏等で開催される国際食品展示会へ当センターが出展するブースを確保し、販路開拓の機会を提供する。

支援企業数：9社程度

・海外バイヤーから引き合いがあり、取引を検討している企業については、当センター国際課と連携し専門家による相談対応やFS作成支援を活用し、海外展開に向けた支援を行う。また必要に応じて海外展示会への出展支援も活用する。

【成果目標】

- ・出展企業9社
- ・商談件数90件
- ・成約件数10件
- ・海外展開相談件数10件

【波及効果】

これまで海外ニーズの気づきが無かった中小企業・小規模企業が海外展開を検討もしくは開始することで、地域食品製造業の活性化、販路拡大に繋がる。

【将来の支援目標】

県内食品企業の情報をデータベースに蓄積し、継続して海外展開支援を実施出来る支援体制を構築する。